

農業部門強化学業



本事業が融資対象とした小麦農地

[借款概要]

承諾額/実行額	11,847百万円 / 10,136百万円
借款契約調印	1987年8月
借款契約条件	金利4.75%、返済25年（据置7年）
貸付完了	1996年8月

[事業概要]

農業部門における資本形成を促進するため、国立勸業銀行を通じて農民・農協に対し、施設・機械購入資金を供給すること（農業信用）および農業部門において普及・研究・流通といった基礎的部分を強化すること（農業基盤整備）により、農業生産の拡大・安定と農家所得の向上に寄与するもの。

[評価結果]

本事業のうち、農業信用については、1991年より6年の間に、個人農民向け12,357件、農協向け42件の融資を通じ、農地造成、関連施設の建設、資機材購入等が行われた。受益農民を対象としたインタビュー調査によると、大豆や小麦の機械化等により生産量拡大等の効果があり、大半が融資により生活が向上したと回答している。

一方、農業基盤整備においては、農業技術の普及指導の強化、農業気象観測網の整備、害虫防除体制、家畜衛生管理システムの確立等が図られ、同国経済が依存する農業部門の発展に対し相応の効果があったものと評価される。

なお、国立勸業銀行の財務状況は近年悪化しており、IMF、世銀からは農業金融分野の再編が確定されていること等を踏まえ、今後の動向を注視して行く必要がある。